

8. マンパワー不足

宮城県保健福祉部医療整備課は、宮城県沿岸部（石巻と気仙沼医療圏）の病院医師数は震災前より1割減少、約4割の病院で常勤医が減少したと報告している（平成24年2月28日付）。病院の常勤医師数は27名の減少、非常勤医師数は応援体制が整い25%増加したが、震災後に看護師が減少した病院は55%に上った。

今回の調査では、小児科医療機関での職員数の変動は、津波被害と原発事故の影響を受けたところの看護スタッフ減少が主であった。

E. 結論

1. 被災3県の小児科医療機関1,080件を対象にアンケート調査を行ったところ、468件（43.3%）から回答を得た。
2. 建物被害は、地震による倒壊よりも津波被害によるものが多く、建築年代と建物被害の相関はなかった。人的被害と建物被害を県別にみると、岩手県は沿岸部の津波被害、福島県は内陸部の建物倒壊による被害が中心で、宮城県はその両方であった。
3. 震災直後は、外来診療・入院診療ともに半数以上で受入制限または受入不可であった。入院診療、救急対応、乳幼児健診は3月下旬に復旧、外来診療、予防接種外来、慢性特殊外来は4月上旬に復旧した。内陸部に比較して、沿岸部の診療の復旧は3~4週間の遅延がみられた。原発区域では4月から9月にかけて、津波被災を受けた医療機関は5月から9月まで復旧は遅れた。
4. 投薬について、薬剤の流通が滞ったため、約半数は処方日数を制限（7日間）して処方された。慢性期疾患患者の定期処方、お薬手帳の流失などから処方内容が不明で苦勞した。近くの調剤薬局が機能しなかったため処方が受けられないことがあった。
5. 電気、水道、電話回線などのライフラインは6~7割で被害を受けたにもかかわらず、停電対策で震災後に自家発電機を購入したのは1割に満たず、燃料の備蓄を変更したのも2割弱であった。

6. 沿岸部ではライフラインの回復が遅れたが、それ以上に診療の復旧に時間を要した。損壊した医療機器の準備など医療インフラの再整備、マンパワー確保などに時間と手間がかかるものと思われる。
7. 大災害発生時に多くの患者に対応できるために重要な項目である、指揮系統、情報通信、災害時救急体制、停電対策は重要度認識のスコアが高く、実際に対策にもよく取り組まれていた。医療機関のハード面の防災対策である建物耐震と機器転倒防止の耐震対策については重要度認識は低いものの、備蓄とあわせて実際によく取り組まれていた。
8. 医療機関への支援要請は、他院での定期薬の処方希望が多かった。普段から日数の余裕をもって処方する、学校などで保管してもらい、処方内容や緊急時の対応を記載した患者カードを常に身につけておくなどの具体的な対策が上げられた。また、災害時対策の患者指導の必要性が強調された。
9. マンパワー不足は、津波被害と原発事故の影響を受けた医療機関の看護スタッフ減少が主であった。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

岩手県の被害

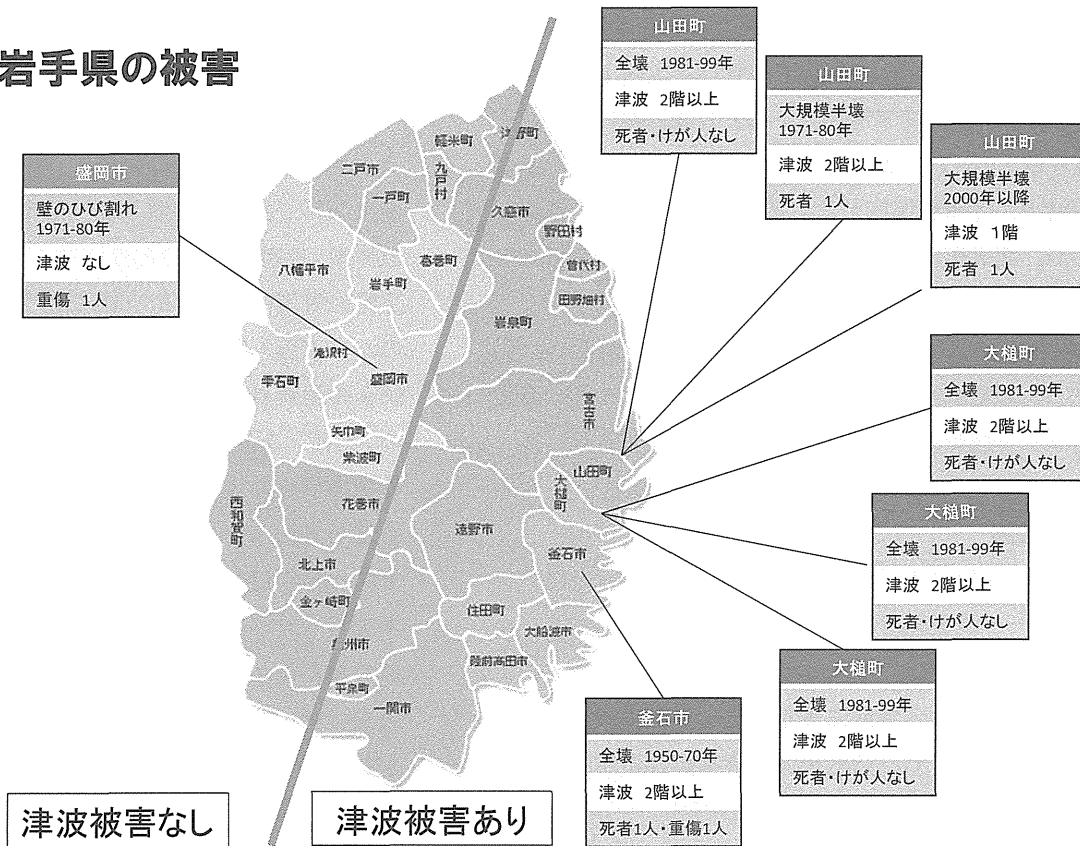


図 10 岩手県の被害 建物被害（大規模半壊と全壊）、津波被害、人的被害の分布図

宮城県への被害

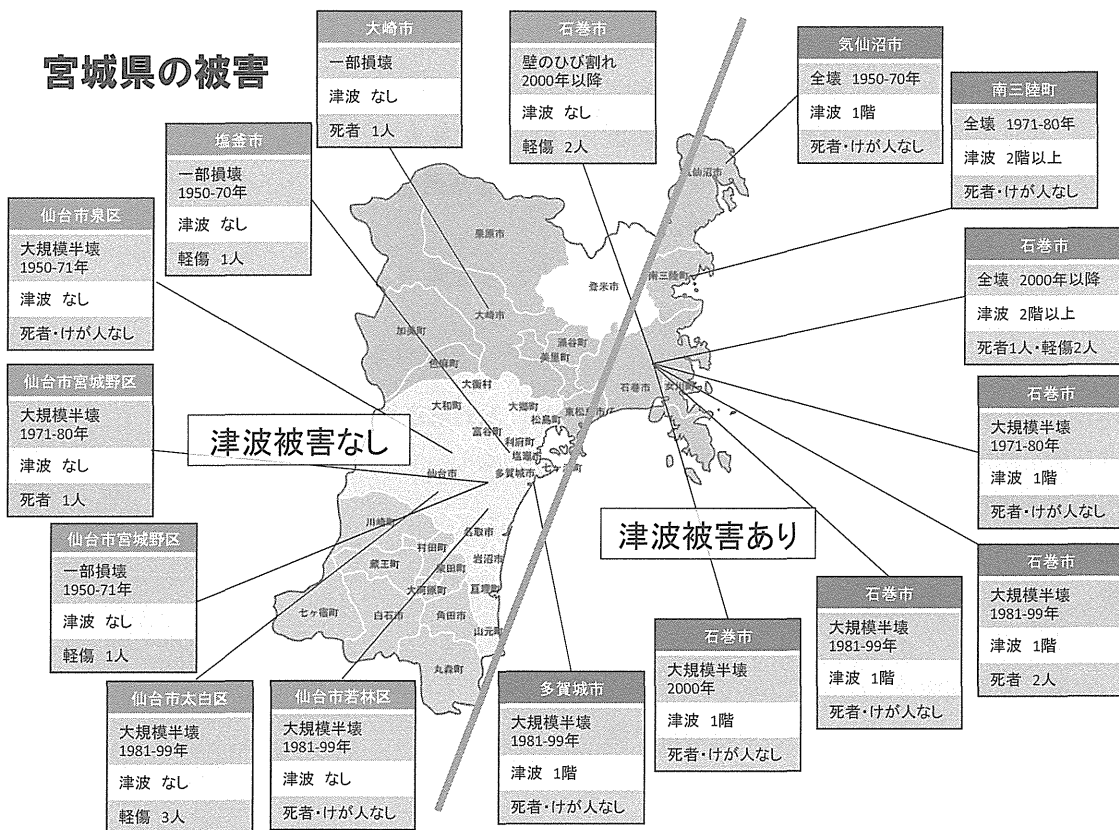


図 11 宮城県 の被害 建物被害（大規模半壊と全壊）、津波被害、人的被害の分布図

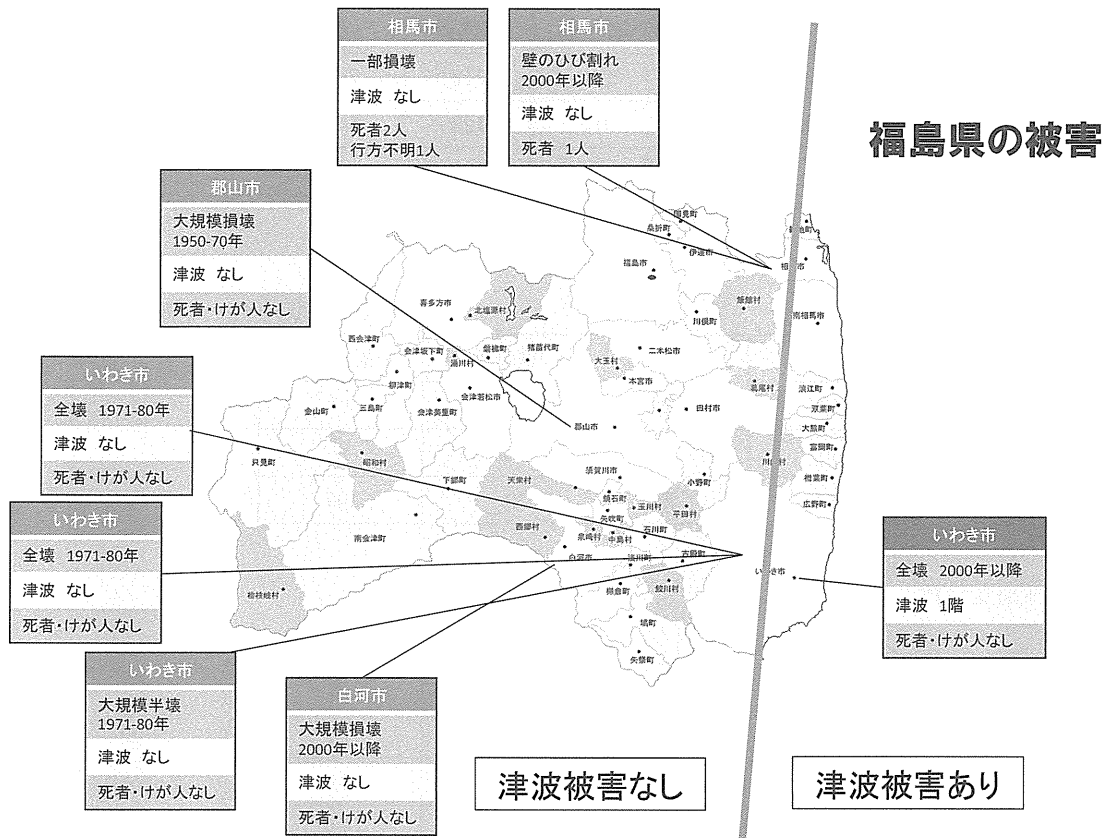


図 12 福島県の被害 建物被害（大規模半壊と全壊、建築年代）、津波被害、人的被害の分布図

表1 アンケート送付数

	全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
送付先 (件数)	1080	159	403	518	312	768	37	
回答数 (件数)	468	85	200	183	123	345	21	36
回収率	43.3%	53.5%	49.6%	35.3%	39.4%	44.9%	56.8%	

表2 医療機関の規模

(件 数)

	全 体	岩手県	宮城県	福島県
200床以上	43	12	16	15
20から200床	40	13	16	11
20床未満	364	56	161	147

表3 小児患者外来受診数

(件 数)

	全 体	岩手県	宮城県	福島県
ほとんどない	40	9	16	15
1～5人	96	14	38	44
6～10人	60	10	26	24
11～30人	76	15	32	29
31～50人	59	14	17	28
51～70人	52	12	27	13
71～100人	48	11	24	13
101～150人	15	0	9	6
151～200人	3	0	2	1
201人以上	5	0	3	2

表4 職員の人的被害

(人 数)

	全 体	岩手県	宮城県	福島県	備 考
死 亡	12	5	3	4	山田町3人、釜石市2人、石巻市3人、 相馬市3人、南相馬市1人
行方不明	3	0	2	1	大崎市1人、仙台市宮城野区1人、 相馬市1人
重 症	2	2	0	0	釜石市1人、盛岡市1人
軽 傷	9	0	9	櫛	石巻市4人、塩竈市1人、 仙台市宮城野区1人、仙台市太白区3人

表5 建物の被害

	全 体		岩手県		宮城県		福島県	
	病 院	診 療 所	病 院	診 療 所	病 院	診 療 所	病 院	診 療 所
被害なし	9	82	5	25	2	29	2	28
壁のひび割れ程度	32	150	11	11	9	72	12	67
一部損壊	30	66	6	6	17	31	7	29
半 壊	0	6	0	0	0	2	0	4
大規模半壊	3	12	1	1	1	9	1	2
全 壊	0	13	0	6	0	4	0	3

(件 数)

20床以上を病院、20床未満を診療所とした。

表6 津波による被害

(件 数)

	全 体	岩手県	宮城県	福島県
な し	392	67	165	160
床 下	4	0	3	1
一階床上～一階天井	16	2	12	2
二階以上	9	7	2	0

表7 医療機器の損壊状況

(件 数)

	全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
なし (件数)	306	61	115	130	69	237	13	5
あり (件数)	115	15	67	33	49	66	3	25
	27.3%	19.7%	36.8%	20.2%	41.5%	21.8%	18.8%	83.3%

表 8 被災直後（平成 23 年 3 月 11 日から 18 日）の診療状況

		全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
外 来	通常通り（件数）	189	27	73	89	26	161	6	3
		45.3%	35.5%	41.0%	54.6%	22.2%	54.2%	35.3%	10.3%
	受入制限（件数）	141	23	72	46	42	99	2	2
		33.8%	30.3%	40.4%	28.2%	35.9%	33.3%	11.8%	6.9%
	受入不可（件数）	87	26	33	28	49	37	9	24
		20.9%	34.2%	18.5%	17.2%	41.9%	12.5%	52.9%	82.8%
入 院	通常通り（件数）	54	17	18	19	10	44	0	0
		47.8%	53.1%	41.9%	50.0%	27.0%	57.9%	0.0%	0.0%
	受入制限（件数）	25	7	10	8	2	23	0	0
		22.1%	21.9%	23.3%	21.1%	5.4%	30.3%	0.0%	0.0%
	受入不可（件数）	34	8	15	11	25	9	3	14
		30.1%	25.0%	34.9%	28.9%	67.6%	11.8%	100.0%	100.0%

表9 診療状況の経時的変化

(平均値から日付を算出した)

		全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
外来診療	×	3月11日	3月11日	3月11日	3月12日	3月11日	3月11日	3月13日	3月11日
	△	28日	20日	17日	17日	25日	15日	22日	4月10日
	○	29日	29日	28日	30日	4月10日	25日		5月4日
	◎	4月3日	31日	4月6日	4月4日	4月22日	30日	4月15日	29日
入院診療	×	3月11日	3月11日	3月13日	3月11日	3月11日	3月12日	3月11日	3月12日
	△			17日	25日		22日		8月1日
	○	23日	14日	18日	4月7日	4月2日	25日		
	◎	25日	17日	31日	8日	15日	27日		9月2日
救急対応	×	3月11日	3月11日	3月11日	3月11日	3月11日	3月11日	3月11日	3月11日
	△	18日		13日	14日	19日	15日	12日	5月1日
	○	23日		18日	31日	29日	24日	4月17日	21日
	◎	27日	3月20日	24日	4月1日	4月9日	26日	6月6日	8月1日
乳幼児健診	×	3月11日	3月11日	3月11日	3月12日	3月11日	3月11日	3月11日	3月11日
	△	25日		23日	25日	4月2日	21日		4月24日
	○	4月2日	31日	4月1日		9日	30日	4月1日	26日
	◎	10日	4月9日	14日	4月7日	5月8日	4月2日	9月2日	5月31日
予防接種外来	×	3月11日	3月11日	3月11日	3月12日	3月11日	3月11日	3月11日	3月11日
	△	25日		22日	25日	4月2日	21日	21日	4月21日
	○	4月2日	30日	4月2日	4月7日	14日	28日		27日
	◎	12日	4月7日	15日	10日	5月8日	4月6日	4月21日	5月31日
慢性特殊外来	×	3月11日	3月11日	3月11日	3月11日	3月11日	3月11日	3月12日	3月11日
	△	25日		18日	17日	4月3日	20日	4月1日	4月25日
	○	4月2日		26日		22日	24日	8月1日	5月4日
	◎	7日	4月2日	4月7日	4月14日	5月7日	4月1日	9月2日	6月23日

表 10 震災後一週間の投薬

		全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
院内処方 (件数)		190	34	76	81	46	144	6	6
		44.4%	44.7%	41.3%	48.2%	38.0%	46.9%	31.6%	16.7%
	通常通り (件数)	85	11	30	44	15	70	2	1
		19.9%	14.5%	16.3%	26.2%	12.4%	22.8%	10.5%	2.8%
	日数制限 (件数)	99	21	44	35	26	73	4	5
		23.1%	27.6%	23.9%	20.8%	21.5%	23.8%	21.1%	13.9%
	制限日数 (平均日数)	7.1	7.1	6.9	7.7	5.4	7.8	6	5
	(SD)	3.9	3.6	4	4.1	2.1	4.2	2	2
院外処方 (件数)		225	43	100	82	43	182	5	3
		52.6%	56.6%	54.3%	48.8%	35.5%	59.3%	26.3%	8.3%
	院外処方箋発行(件数)	197	37	87	73	35	162	4	4
		46.0%	48.7%	47.3%	43.5%	28.9%	52.8%	21.1%	11.1%
	口頭・電話・Fax(件数)	27	3	15	9	7	20	1	0
		6.3%	3.9%	8.2%	5.4%	5.8%	6.5%	5.3%	0.0%

表 11 近くの調剤薬局の状況

	全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
通常通り (件数)	157	37	60	60	13	144	2	2
	40.2%	51.4%	35.3%	40.3%	12.0%	51.1%	13.3%	6.7%
規模縮小 (件数)	84	13	47	24	25	59	2	1
	21.5%	18.1%	27.6%	16.1%	23.1%	20.9%	13.3%	3.3%
営業しなかった(件数)	60	12	28	20	43	16	7	22
	15.3%	16.7%	16.5%	13.4%	39.8%	5.7%	46.7%	73.3%
不 明 (件数)	90	10	35	45	27	63	4	5
	23.0%	13.9%	20.6%	30.2%	25.0%	22.3%	26.7%	16.7%

表 12 投薬に際して苦労したこと

	全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
電子カルテが開けない	51	12	35	4	18	33	1	6
お薬手帳がない	100	20	46	34	37	63	6	10
薬剤が流通しない	201	45	79	77	59	142	6	11
調剤薬局が機能しない	51	18	14	19	30	21	3	8
停電で処方できない	70	22	45	3	20	50	0	7

(件 数)

表 13 震災後一週間の処方内容

処方内容	件数	処方内容	件数	処方内容	件数
風邪薬	336	呼吸器官用薬	138	外用薬	147
神経系用薬	39	消化器官用薬	105	漢方製剤	29
感覚器官用薬	20	ホルモン剤	14	腫瘍用薬	4
ビタミン剤	13	泌尿生殖器官用薬	9	細胞賦活用薬	4
循環器官用薬	19	アレルギー用薬	175		

表 14 ライフラインの被害状況

		全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
停 電	あり (件数)	303	73	172	58	89	214	5	30
		70.8%	96.1%	93.5%	34.5%	73.6%	69.7%	26.3%	83.3%
	なし (件数)	117	3	10	104	27	90	10	1
	平均持続日数	5.7	6	6.8	1.8	12	3.5	3	23.2
	(SD)	9.5	13.2	8.8	1.6	17	3		21.8
断 水	あり (件数)	253	25	133	95	100	153	7	31
		59.1%	32.9%	72.3%	56.5%	82.6%	49.8%	36.8%	86.1%
	なし (件数)	167	51	48	68	17	150	9	0
	平均持続日数	10.6	14.1	11.6	8.6	17	7.3	1	26.2
	(SD)	12.6	28.9	11.1	7.8	18.2	6.2		26.6
電話回線 不通	あり (件数)	291	61	153	77	94	197	9	31
		68.0%	80.3%	83.2%	45.8%	77.7%	64.2%	47.4%	86.1%
	なし (件数)	130	15	28	87	21	109	7	0
	平均持続日数	7.2	9.5	7.7	4.2	14.3	4.3	5.4	30.4
	(SD)	12	19.7	10	4.1	20	3.9	3.2	29.6
非常用 回線	あり (件数)	57	16	28	13	19	38	4	4
		13.3%	21.1%	15.2%	7.7%	15.7%	12.4%	21.1%	11.1%
なし (件数)	210	37	106	67	62	148	5	20	
インター ネット 通信不能	あり (件数)	233	54	129	50	76	156	6	23
		54.4%	71.1%	70.1%	29.8%	62.8%	50.8%	31.6%	63.9%
	なし (件数)	141	15	29	97	28	114	8	4
	平均持続日数	7.8	6.9	9.8	3.9	17.5	4.5	3.5	48.1
	(SD)	22.7	10.4	29.7	3	43.2	3.5	3.3	84.8

表 15 停電対策

		全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
自家発電機	震災前から準備	107	30	41	36	30	77	5	6
	震災後購入	37	8	21	8	13	24	0	3
	していない	273	38	119	116	73	200	10	22
実際に電気 使用不可日数	平均日数	3.8	4.3	6	0.6	8.2	2.2	0.3	20.9
	(SD)	8.2	10.4	9.6	1.2	14.6	3.1	1.1	20
震災前の 燃料備蓄	平均日数	4.6	5.1	4.2	4.7	5.4	4.3	4	8.7
	(SD)	5.9	7.2	5.4	5.7	6.7	5.5	3.6	8.2
燃料備蓄 の変更	しない (件数)	297	56	119	122	73	224	9	14
	した (件数)	72	14	40	18	17	55	0	4
		19.5%	20.0%	25.2%	12.9%	18.9%	19.7%	0.0%	22.2%
	変更平均日数	5.4	4.2	62	4.6	8.5	4.8		10
	(SD)	5.8	3.6	6.3	5.8	6.7	5.2		4.4

表 16 防災課題の重要度認識

(件 数)

	大変重要である	重要である	ふつう	重要でない
指揮系統	167	165	45	0
情報通信	270	117	10	0
備 蓄	145	204	44	3
マンパワー確保	117	207	57	2
建物耐震	158	179	56	0
機器転倒防止	124	205	63	0
停電対策	187	165	36	4
災害時救急体制	141	196	52	0
医療機関間の情報共有	129	204	56	0
子どもの心のケア	92	218	75	1
慢性期患者管理	120	194	63	1

表 17 最も重要である防災課題（一つだけ選択して回答）

	全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
指揮系統 (件数)	49	9	15	25	16	33	3	1
	12.4%	12.5%	8.8%	16.3%	14.5%	11.7%	20%	3.4%
情報通信 (件数)	139	30	58	51	48	89	6	17
	35.2%	41.7%	34.1%	33.3%	43.6%	31.4%	40%	58.6%
備 蓄 (件数)	21	3	11	7	7	14	1	2
	5.3%	4.2%	6.5%	4.6%	6.4%	4.9%	6.7%	6.9%
マンパワー確保 (件数)	33	4	14	15	11	22	2	2
	8.4%	5.6%	8.2%	9.8%	10%	7.8%	13.3%	6.9%
建物耐震 (件数)	24	3	6	15	3	21	1	0
	6.1%	4.2%	3.5%	9.8%	2.7%	7.4%	6.7%	0%
機器転倒防止 (件数)	4	0	3	1	0	4	0	0
	1.0%	0%	1.8%	0.7%	0%	1.4%	0%	0%
停電対策 (件数)	59	13	33	13	8	51	0	2
	14.9%	18.1%	19.4%	8.5%	7.3%	18.0%	0%	6.9%
災害時救急体制 (件数)	38	5	18	15	11	27	2	2
	9.6%	6.9%	10.6%	9.8%	10%	9.5%	13.3%	6.9%
医療機関間の情報共有 (件数)	16	5	6	5	4	12	0	2
	4.1%	6.9%	3.5%	3.3%	3.6%	4.2%	0%	6.9%
子どもの心のケア (件数)	1	0	1	0	0	1	0	0
	0.3%	0%	0.6%	0%	0%	0.4%	0%	0%
慢性期患者管理 (件数)	11	0	5	6	2	9	0	1
	2.8%	0%	2.9%	3.9%	1.8%	3.2%	0%	3.4%

表 18 震災後、実際に取り組んだ対策（複数回答可）

	全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
指揮系統 (件数)	100	18	36	46	28	70	4	7
	23.4%	23.7%	19.6%	27.4%	23.1%	22.8%	21.1%	19.4%
情報通信 (件数)	148	34	67	47	48	100	3	12
	34.6%	44.7%	36.4%	28.0%	39.7%	32.6%	15.8%	33.3%
備 蓄 (件数)	182	29	102	51	52	129	3	16
	42.5%	38.2%	55.4%	30.4%	43.0%	42.0%	15.8%	44.4%
マンパワー確保 (件数)	42	6	18	18	16	26	4	4
	9.8%	7.9%	9.8%	10.7%	13.2%	8.5%	21.1%	11.1%
建物耐震 (件数)	61	12	27	22	18	43	0	5
	14.3%	15.8%	14.7%	13.1%	14.9%	14.0%	0%	13.9%
機器転倒防止 (件数)	148	23	70	55	33	115	2	9
	34.6%	30.3%	38.0%	32.7%	27.3%	37.5%	10.5%	25.0%
停電対策 (件数)	140	32	78	30	39	100	2	11
	32.7%	42.1%	42.4%	17.9%	32.2%	32.6%	10.5%	30.6%
災害時救急体制 (件数)	89	20	35	34	23	64	4	6
	20.8%	26.3%	19.0%	20.2%	19.0%	20.8%	21.1%	16.7%
医療機関間の情報共有 (件数)	92	26	36	30	26	65	2	9
	21.5%	34.2%	19.6%	17.9%	21.5%	21.2%	10.5%	25.0%
子どもの心のケア (件数)	44	9	21	14	18	26	2	5
	10.3%	11.8%	11.4%	8.3%	14.9%	8.5%	10.5%	13.9%
慢性期患者管理 (件数)	40	8	16	16	12	27	3	2
	9.3%	10.5%	8.7%	9.5%	9.9%	8.8%	15.8%	5.6%

表 19 医療支援の要請

	全 体	岩手県	宮城県	福島県	沿岸部	内陸部	原発区域	津波被災
薬を流失した (件数)	165	31	80	54	63	102	7	14
	38.6%	40.8%	43.5%	32.1%	52.1%	33.2%	36.8%	38.9%
定期処方不足 (件数)	192	30	89	73	62	130	9	12
	44.9%	39.5%	48.4%	43.5%	51.2%	42.3%	47.4%	33.3%
電源を借りたい (件数)	42	9	25	8	12	30	1	0
	9.8%	11.8%	13.6%	4.8%	9.9%	9.8%	5.3%	0%
透析患者 (件数)	38	9	14	15	14	22	1	2
	8.9%	11.8%	7.6%	8.9%	11.6%	7.2%	5.3%	5.6%
血糖値測定器 (件数)	12	2	6	4	8	4	1	1
	2.8%	2.6%	3.3%	2.4%	6.6%	1.3%	5.3%	2.8%
薬剤の冷蔵 (件数)	10	2	6	2	3	7	0	0
	2.3%	2.6%	3.3%	1.2%	2.5%	2.3%	0%	0%
レスパイト希望 (件数)	6	2	3	1	2	4	0	0
	1.4%	2.6%	1.6%	0.6%	1.7%	1.3%	0%	0%
なかった (件数)	119	24	46	49	21	98	2	9
	27.8%	31.6%	25%	29.2%	17.4%	31.9%	10.5%	25%

表 20 慢性期疾患の患者管理

(件 数)

	大変重要である	重要である	ふつう	重要でない
災害時対策患者指導	112	206	42	2
患者会ネットワーク	41	165	134	6
患者カードの携帯	123	160	69	4
アレルギー除去食	64	182	99	5
日数の余裕のある処方	41	178	125	13
自家発電機などの確保	101	160	90	5
電気が不要な医療機器	40	144	142	16
福祉避難所などの整備	69	182	92	2
レスパイト入院整備	45	178	109	4

表 21 被災 3 県の医療機関全体の建物被害状況（厚生労働省医政局調べ平成 23 年 7 月 1 日付）

（件 数）

	病院数	全 壊	一部損壊	診療所数	全 壊	一部損壊
岩手県	94	3	59	927	38	76
宮城県	147	5	123	1626	43	581
福島県	139	2	108	1483	2	516
合 計	380	10	290	4036	83	1173

表 22 被災 3 県の医療機関全体の診療機能の状況（厚生労働省医政局調べ平成 23 年 5 月 25 日付）

1) 病 院

（件 数）

	病院数	外来受入制限			外来受入不可		
		被災直後	4/20	5/17	被災直後	4/20	5/17
岩手県	94	54	5	3	7	3	3
宮城県	147	40	17	5	11	6	2
福島県	139	66	20	11	27	12	12
合 計	380	160	42	19	45	21	17

	病院数	入院受入制限			入院受入不可		
		被災直後	4/20	5/17	被災直後	4/20	5/17
岩手県	94	48	7	2	11	5	4
宮城県	147	7	13	5	38	11	7
福島県	139	52	22	14	35	24	20
合 計	380	107	42	21	84	40	31

2) 診療所

（件 数）

	診療所数	4/19	
		外来受入制限	外来受入不可
岩手県	924	6	34
宮城県	1580	23	42
福島県	1468	15	4
合 計	3972	44	80

平成 24 年 11 月

医療機関長 殿

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究
研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫
分担研究者 岩手医科大学小児科教授 千田 勝一
分担研究者 福島県立医科大学小児科教授 細矢 光亮

震災時の小児保健医療に関する調査研究へのご協力をお願い

初冬の候、先生方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、調査研究にご協力いただきましてありがとうございます。日本全国に大きな悲しみと被害をもたらした東日本大震災から一年半以上が経過し、被災地の小児医療施設も、先生方の多大なるご尽力により、復旧してまいりました。

当研究班では、この度、震災時の小児保健医療に関する調査を行うことになりました。岩手県・宮城県・福島県内の小児科標榜医療機関に、1) 被害の程度、2) 震災後の診療の復旧状況、3) 震災直後のライフラインの状況、4) 今後の防災面での課題などに関する調査にご協力いただき、小児医療施設における災害時の課題等を取りまとめ、今後の対応の提言を行うことで、小児保健医療の向上に寄与することができると考えております。調査結果につきましては、皆様にご覧いただけるよう、公表、報告させていただきます。

同封のアンケートにご記入いただき、平成 24 年 12 月 21 日（金）までに、返信用封筒で返送をお願いできましたら幸いに存じます。

ご不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[お問い合わせ先]

東北大学医学部小児科

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

Tel 022-717-7289 Fax 022-717-7285

HP <http://www.ped.med.tohoku.ac.jp/311childhealth/>

再 送

資料 2 : 調査研究アンケート再送依頼文

平成 25 年 2 月

医療機関長 殿

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究
研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫
分担研究者 岩手医科大学小児科教授 千田 勝一
分担研究者 福島県立医科大学小児科教授 細矢 光亮

震災時の小児保健医療に関する調査研究へのご協力をお願い

寒さ厳しき折、先生方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年 11 月は、本調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございました。先生方が震災後の大変なときに地域子どもたちを守るために奮闘されていた様子が浮き彫りにされました。東日本大震災では、地震による被害だけではなく、津波被害、原発事故による被害の 3 つが私たちの生活を脅かしました。この大震災で経験したことを、今後、国内外で憂慮される大災害時における小児保健医療の備えに反映する使命を強く感じております。

しかしながら、今回のアンケート回収率は全体で 23%に止まりました。先生方にはご多忙のところを大変恐縮いたしますが、アンケート調査につきまして再度お願いする次第です。（前回ご協力いただきました先生方におかれましては、このままアンケートは破棄してください）

なにとぞよろしくお願い申し上げます。

- ◆ アンケート調査につきまして、再度お願いを申し上げます。
- ◆ 平成 25 年 2 月 20 日（水）までに、返信用封筒でご返送ください。
- ◆ 前回（昨年 11 月）ご協力いただきました施設では、このままアンケートは破棄してください

ご不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[お問い合わせ先]

東北大学医学部小児科

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

Tel 022-717-7289 Fax 022-717-7285

HP <http://www.ped.med.tohoku.ac.jp/311childhealth/>

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究アンケート

あてはまる□にチェック☑を、または、下線部に記載をお願いいたします。

問1 貴院のご住所をお教えてください

岩手県 宮城県 福島県

市町村区名 _____ (例 仙台市青葉区)

問2 貴院の規模をお教えてください

200床以上の病院(中大規模) 200床未満20床以上の病院(小規模)

20床未満の診療所

問3 貴院の小児科(または満18歳未満の方)の一日の平均外来受診数をお教え下さい

(平成24年10月分の受診数でお教えてください)

ほとんどいない 1～5人 6～10人 11～30人

31～50人 51～70人 71～100人 101～150人

151～200人 201人以上

問4 貴院の職員の方の被害についてお教えてください

職員の死亡・行方不明者数 _____ 人 (死者 _____ 人、行方不明者 _____ 人)

重傷、軽傷者数 _____ 人 (重傷 _____ 人、軽傷 _____ 人)

問5 建物の被害についてお教えてください

被害なし 壁のひび割れ程度 一部損壊 半壊

大規模半壊 全壊

問6 建物の建築年代についてお教えてください

2000年以降 1981～1999年 1971～1980年

1950～1970年 1950年以前

問7 津波による被害についてお教えてください

- なし 床下 一階床上～一階天井 二階以上

問8 医療機器の転倒、損壊、浸水による使用不可はありましたか

- なし あり ⇒ 「あり」の方、具体的にお教えてください
- コンピューター、電子カルテ CT MRI
- レントゲン 自家発電機 エコー
- 心電図 その他 (_____)

問9 貴院は避難区域に入っていますか

- どちらでもない 計画的避難区域 警戒区域

問10 被災直後（平成 23 年 3 月 11 日～18 日）の診療状況についてお教えてください

- 外来診療
 通常どおり行った 受入制限した 受入不可だった
- 入院診療
 通常どおり行った 受入制限した 受入不可だった

問11 受入制限をされた場合、または、受入不可の場合、いつから通常どおりの診療に戻られましたか

- 外来診療 _____月 _____日
- 入院診療 _____月 _____日
- 救急診療 _____月 _____日
- 乳幼児健診 _____月 _____日
- 予防接種 _____月 _____日
- 慢性疾患患者診療 _____月 _____日

問12 診療状況について、経時的におおよそをお教え下さい

×…ほとんどゼロ △…普段の半数未満 ○…普段の半数以上 ◎…普段どおり になった初日に記号を入れて下さい

記入例	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
外来診療	×					△						○						◎			

平成 23 年  3 月 11 日は震災後の様子をお願いいたします

3 月	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
外来診療																					
入院診療																					
救急対応																					
乳幼児健診																					
予防接種外来																					
慢性特殊外来																					

4 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
外来診療																					
入院診療																					
救急対応																					
乳幼児健診																					
予防接種外来																					
慢性特殊外来																					

	4/22~ 4/30	5/1~ 5/10	5/11~ 5/20	5/21~ 5/31	6/1~ 6/15	6/16~ 6/30	7/1~ 7/31	8/1~ 8/31	9/1~ 現在まで
外来診療									
入院診療									
救急対応									
乳幼児健診									
予防接種外来									
慢性特殊外来									

問13 震災後から一週間の投薬について伺います

(震災後～平成23年3月18日まで)

- 院内で行った
 - 通常通り
 - 日数制限ありで処方した ⇒ 最初は _____ 日間分で処方
- 院外処方箋を利用
 - 院外処方箋を発行した
 - FAX・電話・口頭などで情報を伝達
- その他の方法
(_____)

問14 お近くの調剤薬局は、震災後一週間の間、営業していましたか

- 通常どおり営業した
- 規模を縮小した
- 営業しなかった
- 不明

問15 投薬で苦勞されたことは何ですか

- 電子カルテが開けず、処方内容を確認できなかった
- 処方箋控えや「お薬手帳」がなく、処方内容を確認できなかった
- 薬剤が流通しなかった
- 近くの調剤薬局が機能しなかった
- 電源がないため分包機が稼働せず、散剤などが処方できなかった
- その他 (_____)

問16 震災後一週間の小児科患者の処方内容をお教えてください

- 「風邪ぐすり」、抗生剤、下熱剤など
- 神経系用薬
- 感覚器官用薬
- ビタミン剤
- 循環器官用薬
- 呼吸器官用薬
- 消化器官用薬
- ホルモン剤
- 泌尿生殖器官、肛門用薬
- アレルギー用薬
- 外皮用薬
- 漢方製剤
- 腫瘍用薬
- 細胞賦活用薬
- その他 (_____)